



子どもたちの意見を 市政へ

川西市子ども議会

子ども議会を
知っていますか

川西市子ども議会は、平成4年、市役所新築を記念して『小・中学生のみなさんから川西市への夢や希望を聞き、まちづくりに役立てたい』という思いから始まり、今年度で19回目を迎えました。平成15年度までは、小学生子ども議会、中学生子ども議会として別々に開催していましたが、平成16年度からは、異年齢交流を図ることも考慮し、小・中学生、及び特別支援学校の児童・生徒が合同で参加しています。また、市外へ通学の小・中学生にも広く呼びかけ、一般公募の子ども議員として参加しています。

子ども議会は
本会議そのもの

子ども議会とはいえ、会場は市議会が行われる本会議場を使用します。もちろん、子ども議員の質問に対しての答弁も、市長・副市長・教育委員会委員長・教育長をはじめ、各部長が行います。質問をする子ども議員たちはもちろん緊張していますが、実は答弁をする側も、真剣な子ども議員を前にしています。緊張しているのです。



子ども議会の
様子

今年度は小学生18人、中学生7人の25名での活動となりました。事前協議会で子どもたちの考えた作文を基にグループに分かれて話し合い、その内容を7月10日(土)の子ども議会で発表しました。

「川西市は輝いていますか」「大きな公園を作ってほしい」「きんたくんカードの導入について」「大人と子どもの協力」など、グループごとに様々な質問を行いました。

継続議員
としての活動

子ども議会での発表だけでなく、継続議員活動として「子ども議会だより」を発行し、広く子ども議会について広報活動を行っています。また、来年1月29日開催の川西市PTCA青少年フォーラムでは子ども議会での答弁を受け、もっと調べてみたいことなどを調査・追究し、子どもの提言として発表する予定です。



笑顔



出版不況と言われ出してから、ゆうに10年は経過している。老舗の出版社が消えていくのは、個人的に、少し寂しい。◆調べ物をして内容を知りたいなら、携帯でもパソコンでも十分である。もちろん、端から昨今のメディアの変遷や進化を否定するものではなく、ただ、欲しいのは、「触感」である◆メールの普及により対人対話の温もりが少なくなったが、本のそれも同じである。視覚的な装丁・奥付のほか、本を手にする、大きさ・厚み・重さのみならず、手触りや香り等伝わるものは多い。1980年代まで、本は、明白に「身の回りの物」だった。サイドメニューとして、思い出しおりやブックカバーもあったし、ブックバンドすらあった◆折しも、今年は、国民読書年である。今や、外出する若者にとって、携帯は必需品となった。たまには、書を持って1冊へ出よう!

加藤 隆一郎
(川西市教育委員)

※子ども議会の質問・答弁等については、川西市教育情報センターホームページをご覧ください。http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/johoco/

伊丹学区複数志願選抜制度・特色選抜制度について



「複数志願選抜制度・特色選抜制度」について

1 複数志願選抜 (兵庫県教育委員会発行「リーフレット 公立高等学校 新しい選抜制度」より)

個性や能力に応じて学校を選択し、1校または2校を志願できます。第1志望を優先させるため、第1志望校には**加算点**を加え合否判定を行います。出願時に希望していれば、第1・第2志望校がどちらも不合格の場合でも、総合得点によっては、いずれかの公立高校に合格できます。

複数志願選抜対象校(7校) 県立伊丹高校、県立伊丹西高校、市立伊丹高校、県立川西明峰高校、県立川西緑台高校、
 県立川西北陵高校、県立猪名川高校
 ※市立伊丹高校のグローバルコミュニケーションコース、商業科、
 県立伊丹北高校総合学科はこれまで通りの推薦入試です。

特色選抜を実施する高等学校については、各高等学校の募集定員から特色選抜により入学した人数を引いた数が定員数となります。

志願パターン

- I. 第1志望校のみ ⇒ 第1志望校以外には進学しない。
 - II. 第1志望校+第2志望校のみ ⇒ 第1・第2志望校以外には進学しない。
 - III. 第1志望校+第2志望校+第1・第2志望校以外への入学希望あり
- ※第1・第2志望校以外の入学希望については、個別の学校を希望することはできませんが、総合得点によっては、第1・第2志望校以外のいずれかの高校への合格が可能となります。



2 特色選抜

高等学校が、各校の特色に応じて受験生のさまざまな個性や能力を多面的に評価する選抜方法です。実施校は複数志願選抜を実施する学校のうちから、特色化の進んだ学校で実施されます。

特色選抜対象校(7校) 県立伊丹高校、県立伊丹西高校、市立伊丹高校、県立川西明峰高校、県立川西緑台高校、
 県立川西北陵高校、県立猪名川高校
 ※特色選抜を実施する学校の類型については、兵庫県教育委員会から発表されます。

特色選抜により募集する定員数は、**各高等学校の募集定員の15%以内(最大40人)**とし、その割合については各高等学校長が定めます。入試はコースや専門学科の推薦入学と同じ日程です。(2月中旬)
 特色選抜を志願する場合、**中学校長の推薦は必要ありません**。志願先の高等学校長が定める「生徒に求める条件」に応じて出願することになります。各実施校において**面接が実施され**、学校によっては**実技検査、作文(小論文)**等を行う場合もあります。面接及び実施した検査等の結果と調査書を総合して合否を判定します。

(お問い合わせ) 学校教育課 ☎(740)1254へ

(お問い合わせ)

青少年センター

☎(759)9424へ



※「子どもをまもる110番のおうち」開設などに関する問い合わせについては、該当地域を校区とする小中学校で受け付けています。また、教育委員会では、青少年センターが窓口となつて受け付けていますので、ご連絡ください。

川西市では、子どもを犯罪から守り、安全に安心して暮らせる環境をつくるために、「子どもをまもる110番のおうち」を推進しています。

「子どもをまもる110番のおうち」とは、地域の家庭や事業所が、プレートや子ども安全旗をにかけて、子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになったときに、助けを求めることができる場所のことです。

川西市内には、2007軒の「子どもをまもる110番のおうち」が開設されています(平成22年7月現在)。これからも、さらに多くの方々に協力を得ながら、子どもに対する犯罪やトラブルの防止に努めたいと考えています。



知っていますか? 「子どもをまもる110番のおうち」

新たに市指定文化財を指定



画文帯同向式神獸鏡

出土遺物等4件で、これで本市の市指定文化財は32件となります。

勝福寺古墳は、昭和43年に古墳と出土遺物を指定していましたが、今回明治24年に出土した画文帯同向式神獸鏡と発掘調査で出土した銀製クチナシ玉や土器・埴輪等を追加指定しました。いずれも6世紀初めに築かれた当古墳の学術資料として価値があります。

川西市教

育委員会

は、6月18

日付けで市

指定文化財

を指定しま

した。新指

定文化財は、

勝福寺古墳

勝福寺古墳



小戸神社本殿

小戸神社(小戸1丁目)では、江戸時代(17世紀)の本殿、と鎌倉時代(13世紀)の木造狛犬を指定しました。本殿は、江戸時代前期の神社建築様式を知るための貴重なものです。

観音寺(小花1丁目) 木造十一面観音

菩薩立像は、平安時代(10世紀)

のカヤの一木造りで、本市では満願寺・栄根寺の仏像とともに最古級のものです。中国から伝わった壇造仏像様式が和様化した典型的な仏像です。



十一面観音菩薩立像

(お問い合わせ) 社会教育室 ☎(740)1244へ

いにしえのかわにし®

文化財資料館

100年前に出土、巨大銅鐸の謎



加茂遺跡栄根銅鐸

文化財資料館(南花屋敷2丁目)の展示室でひとときわ目立つのが、高さ1・14メートルの栄根銅鐸(複製品)です。明治44年(1911年)加茂遺跡の東側崖下(加茂1丁目)で出土しましたが、当時は栄根字井坂の地名であったことから栄根銅鐸の名称で呼ばれてきました。銅鐸は、ベルのように内側に棒を垂らして音を鳴らすもので、約2千年前の弥生時代の祭りに用いられたと考えられています。銅鐸の多くは30〜40センチメートルの大きさで、釣り下げるのに適していますが、弥生時代末期には栄根銅鐸のように巨大化し、なかでも滋賀県野洲市出土ものは最大で1・35メートルもあります。栄根銅鐸はこれには及びませんが、全国でも5〜6

番目の大きさとなります。加茂遺跡は、弥生時代中期(紀元前3〜1世紀)に全国的にも有数の巨大集落(約20ヘクタール)に発展しますので、巨大銅鐸を保有していたと言いたいところですが、なぜか栄根銅鐸は集落が小さくなる後期末(2世紀)のものです。それでも、現在の鴨神社周辺にある程度の大きさの集落が残りますので、そこには巨大銅鐸を持つ有力な首長がいたのでしょうか。

そういえば、来年で栄根銅鐸が出土してちょうど100年目となります。文化財資料館でこの謎解きに挑戦してみませんか。

(お問い合わせ) 文化財資料館 ☎(757)8624へ

小さなピカン いきいき表現活動

ふたば幼稚園

「平成22・23年度川西市教育委員会指定ふたば幼稚園教育研究会」が7月9日に開催されました。研究主題を「意欲的に遊ぶ子どもを目標として表現活動を通して」とし、感動体験から「楽しい、おもしろい」など、心が豊かになる表現活動を通して意欲的に遊ぶ子どもの育成をめざしています。4歳児は心を解放する遊びとして、ローラーを使って絵を描いたり、野菜のスタンプを押したりして、さまざまな形を楽しみました。子どもたちは「すーいー」「おもしろい！」と歓声をあげながら取り組んでいました。

5歳児は窓いっぱい大きな木を描いたり、「お菓子の木」「鳥の巣の木」「車のコースが



力強い絵

環境体験事業 「わたしのまちの特産物いちじく」

～川西のいちじく畑に 行ったよ!～

久代小学校

久代小学校の3年生が、7月6日環境体験学習の一環で、地域にあるいちじく畑の見学に出かけました。

いちじく農家のみなさんが、川西のいちじくの歴史・特徴・調理方法について説明してくださいました。子どもたちは、いちじく農家のみなさんが朝が早いことや、収穫の準備に追われ、朝の3時くらいから畑に出ていちじくを収穫し、その日の朝に収穫したばかりの完熟いちじくが市場にならぶので、川西のいちじくは「朝どり」として有名であることなどを知り、いちじくについての興味や関心が高まりました。ここで3年生の子どもたちが書いた、いちじく農家のみなさんへのお礼の手紙を紹介しましょう。

「いちじく畑の見学をさせてくださってありがとうございます。おかげで、いちじくのかたち、葉のかたちがよくわかりました。」

「いちじくについて説明をしてくださってありがとうございます。説明はともわかりやすかったです。質問にもていねいにこたえてくださったのでとてもうれしかったです。」

「いちじく畑でいちじくを見たら



するどい観察眼と記録

食へたくなりました。またいちじく狩りに行くのを楽しみにしています。」

見学から帰ったあとも、川西のいちじくを使った特産物いちじく茶やいちじくワインについて調べたり、みんなでいちじく新聞を作ったりしました。

久代小学校の3年生は、年間4回の環境体験学習の活動を計画しています。これらの活動を通して、子どもたちは豊かな久代の自然にふれ、自分たちのふるさとを大切にすることをぐんぐん学んでいくことでしょう。

「トライやる」アクション

学校教育課

「トライやる」アクションとは、トライやる・ウィーク一週間の取り組みの中で培われた地域の教育力を活用し、土曜日や日曜日、夏休みや冬休みの期間を利用して、生徒達が、市内で行われている行事や新しいイベントに主体的に取り組む事業です。

今年度は「トライやる」アクションの一環として、川西中学と東谷中学の二年生計三名が「川西市歌舞伎鑑賞教室」に参加しました。第一部「歌舞伎へのご案内」では、歌舞伎の見どころや、音楽・歴史などをわかりやすく解説してもらいました。また第二部では近松門左衛門作「恋の飛脚大和往来」が上演されました。

当日生徒達は、朝から舞台の仕込みや荷物運びを手伝い、歌舞伎鑑賞教室では、舞台上で、女形の作法を教わりました。いずれも学校ではできない貴重な体験であり、日本の伝統文化の素晴らしさを学ぶことができました。

これからも「トライやる」アクションを通して、子どもたちが地域に学び、感謝の気持ちを育むことが出来るよう、「心の教育」をめざしてまいります。



できるかな? 女形の作法

「学生ボランティア募集中!」

「子どもたちの笑顔が待っています」

川西市では、特色ある教育を進めるために、川西市立幼稚園・小・中学校で、エネルギーシユな大学生の学生ボランティアを募集しています!

子どもたちの生活と学びの場である学校教育の場で、「お兄さんお姉さん」として子どもと一緒に活動してみませんか?

お問い合わせ
学校教育課 ☎(740)1254へ